

新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの



進い詰める 怒りをカに

アベ政治
(はるみのワクワク川柳)

悪法押し通すアベ政治を終わりに



11月25日
パレード

総務企画危機管理委員会質問
より
知事部局の障害者雇用率
(法定雇用率2.5%)早期の達成を

2018年6/1時点で障害者雇用率2.33%の現状で、99人の必要数に対し93人と6人不足しています。質問を通して、「無効の診断書による認定や病気休職者などの不正な水増しはなかった」「今回法定雇用率を達成できなかったのは、算定の基礎となる職員の範囲がこれまでとは異なり非常勤職員も対象にするとのことで算定し直した結果」と答弁がありました。

安藤が法定雇用率達成を求めたのに対し人事課長は「これまで行ってきた身体障害者の採用人数を拡大することや、新たに非常勤職員の採用試験の中に障害者採用枠を設け、できるだけ速やかに法定雇用率を達成することを目指す」と答弁しました。

六ヶ所再処理工場や東通原発はマグニチュード9.0クラスにも耐える耐震設計がなされているのか
防災ハンドブック「あおりおまもり手帳」に記載されている太平洋側海溝型地震でマグニチュード9.0クラスの地震が発生する可能性が示されていることを受け、質しました。

防災危機管理課長は「青森県に大きな被害を与えると思われる最大クラスの巨大地震、津波を被害想定した」とし、「日本原燃、東北電力共に基準地震動を策定しマグニチュード9.0クラスの海溝型地震を考慮しているとのこと。日本原燃は安全上重要な施設については基準地震動に耐えるような設計を行っているとのこと」と答弁しました。

さらに、両施設に対する津波問題を追及すると「日本原燃によると、六ヶ所再処理工場は標高50mから55m海岸から4mから5m離れているので津波は到達しないとし、東北電力によると東通原発は最新の知見を踏まえた津波水位最大で

11.7mと評価し、主要施設は高さ13mの敷地に設けているものの、更に裕度を持たせるために約3mの防潮堤を設置している。万が一津波が防潮堤を越えた場合でも建屋内での浸水防止策を講じているとのこと」と答弁しました。

また、先送りになった北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録についてもとりあげました

はるみの活動日誌

- 11月13日 全国議員研究交流大会に出席<東京>
- 16日 船沢方面街宣、大森勝山縄文遺跡調査(写真)
- 17日 五所川原選挙支援
- 18日 パワハラ・不当解雇を許さない市民集会参加
- 19日 議会運営委員会
弘前市文化財課へ大森勝山調査
- 20日 総務企画危機管理委員会
- 21日 12月議会開会
- 22日 弘前オンブズパーソン総会出席
- 24日 津軽地区食健連収穫・学習交流会参加(写真)
- 25日 11・25 改憲資格無しの戦後最悪アベ政権の即時退陣を求める弘前集会に参加(写真)
- 26日 安藤・千葉ブロック キックオフ集会に出席(写真)
- 28日~30日 一般質問(すわ団長質問)
- 12月1日 津軽宗教者9条の会立ち上げジョーオダネル記念講演会参加
- 5日 総務企画危機管理委員会
- 6日 弘前ねぶたフォーラム参加
- 7日 議会閉会
- 8日 「無煙のまちづくりの日」記念シンポジウムin青森出席

安藤・千葉ブロック キックオフ集会



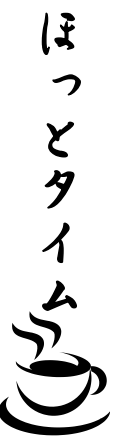
新中核病院になると紹介状が必要に

11月3日に行った議会報告会で参加者から「弘前市立病院も国立弘前病院も紹介状なしで初診してもお金を取られなかったが、新中核病院に移行すれば紹介状なしの初診にお金がかかることになるのではないか」という質問が出されました。調査した結果、20016年から始まった緊急・やむを得ない場合を除き、大病院で紹介状なしで初診を受ける場合は5000円を診察料とは別に支払う制度が導入されており、弘前ではこれまでは、弘前大学付属病院だけが対象となっていました。今後一般病床400床以上(これまでは500床以上)の病院が対象となるため(新中核病院も440床から450床を目指している)、対象になることがわかりました。質問者が話されていたように気軽に行けた病院から気軽に行きにくい病院になってしまうのではという懸念が生まれます。



講演された山田正孝元農林水産大臣
弘前市文化財課へ大森勝山調査

(乗り越えて)



夫が逝ってから12月22日で3ヶ月になります。議員の仕事と候補者の活動に追われながら無我夢中でこの時を過ごしてきました。お別れの会に参加できなかった教え子の皆さんが今でも時々折花を手向けに訪れて下さいます。また、知人友人仲間の皆さんから激励の言葉が届き、励まして頂いています。本当にありがたいです。雪が解け春が来たらそうです。選挙も終わったら、2人で選んでおいた墓地にお墓を立てる予定です。墓石に「平和」と「憲法9条」を刻もうと考えています。夫もきっと賛成してくれらるだろうと思います。

じいじが天国に逝ったことを孫たちも必死に乗り越えようとしています。中一のそらは、遺影を小さな額に入れてもらい勉強机に飾っているそうです。じいじに見てもらっているようで勉強に集中できるのだそうです。4歳になった晴汰は公園から拾ってきた石を毎日積んでお墓をつくり、そこで手を合わせ、夜になると窓を開けて咲くお兄ちゃんといじの星を探しているそうです。孫も孫なりに悲しさを必死に乗り越えているんだなと思います。私も、小さな孫たちに負けずに悲しさを乗り越え未来をつくるために頑張ろうと思います。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。11月の相談対応7件

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

ホームページアクセス数は11月は33,476件

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/